

環境調査結果のお知らせ

平成22年10月6日
中央漁業指導所・水産試験場

平成22年10月6日午前9時半から、浦ノ内湾の調査をしましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、透明度2.5~4.0m、水温21.8~27.7℃、塩分21.0~33.0、溶存酸素濃度0.10~10.22mg/lでした。プランクトンはケイ藻類が優占していました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は21.8~27.7℃、塩分は31.5~33.1でした。10月3日の降雨の影響で、表層には低温・低塩分の水塊が分布しており、前回調査時(9月9日)と比較して、水温は1.7~6.9℃、塩分は0.0~8.5低下していました。

溶存酸素濃度(表3)

湾内の溶存酸素濃度は0.10~10.22mg/lでした。底層の溶存酸素濃度は0.10~4.84mg/lで、光松から湾奥側では貧酸素状態が続いていました。養殖漁場周辺の溶存酸素の状態はやや回復していたものの、10m層で3.14~3.54mg/lの低酸素状態になっていました。淡水の影響がなくなったり、風が連吹したりすると、低酸素水塊が上昇して養殖魚に被害を及ぼす可能性がありますので、十分注意してください。

プランクトン(表4・5)

湾内には濁りが出ており、透明度は2.5~4.0mに低下していました。ケイ藻類が優占しており、その他、有害種のヘテロシグマ・アカシオが少数確認されました。

有害種が出現しているので、今後の動向に注意してください。また、小割周辺の溶存酸素濃度にも注意してください。海の状態や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲んで、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前	漁場平均※	前回調査(H22.9.22)	
						漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	23.2	21.8	23.8	23.8	22.8	29.7	▲ 6.9
2m	27.0	26.6	26.2	26.3	26.4	29.7	▲ 3.3
5m	27.3	27.1	27.1	26.4	27.1	29.7	▲ 2.6
10m	27.7	27.4	27.3	-	27.4	29.3	▲ 1.9
B-1m	27.7	27.4	27.3	26.5	27.4	29.1	▲ 1.7

※ 目の糞・光松の平均値

表2 塩分

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前	漁場平均※	前回調査(H22.9.22)	
						漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	23.2	21.0	25.8	26.4	23.4	31.9	▲ 8.5
2m	31.3	30.4	30.2	31.2	30.3	32.2	▲ 1.9
5m	31.4	32.5	32.4	32.0	32.5	32.6	▲ 0.1
10m	32.9	32.8	32.8	-	32.8	32.8	0.0
B-1m	32.9	33.0	32.9	32.3	33.0	33.1	▲ 0.1

※ 目の糞・光松の平均値

表3 酸素濃度(mg/l)

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前	漁場平均※	前回調査(H22.9.22)	
						漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	10.08	10.22	9.35	6.81	9.79	6.19	3.60
2m	6.47	6.00	4.74	5.20	5.37	6.06	▲ 0.69
5m	5.12	4.23	4.22	4.91	4.23	3.86	0.37
10m	0.73	3.54	3.14	-	3.34	3.64	▲ 0.30
B-1m	0.10	2.02	1.55	4.84	1.79	4.10	▲ 2.32

※ 目の糞・光松の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前
水深	11.6	15.1	16.6	9.4
透明度	2.5	2.8	3.2	4.0
前回透明度	4.0	3.8	4.2	2.7

表5 プランクトン(cells/ml)

		ヘテロシグマ・アカシオ	プロトベリディウム属	ジャイロディニウム・スピラレ	ジャイロディニウム・ドミナンス	ケラチウム・フス
中学前	0m	16	2	4	2	0
	2m	8	0	4	6	0
	5m	4	0	2	0	0
目の糞	0m	0	10	0	2	0
	2m	2	2	2	0	0
	5m	2	2	6	0	2
光松	0m	0	0	2	2	0
	2m	0	0	0	2	0
	5m	0	0	4	4	0
水試前	0m	0	6	0	2	0
	2m	0	2	2	2	0
	5m	0	0	0	2	0